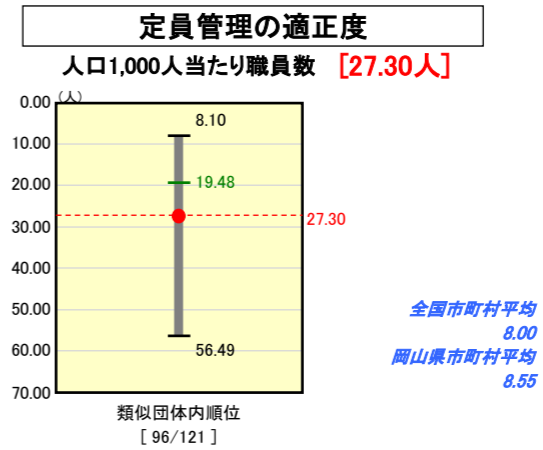
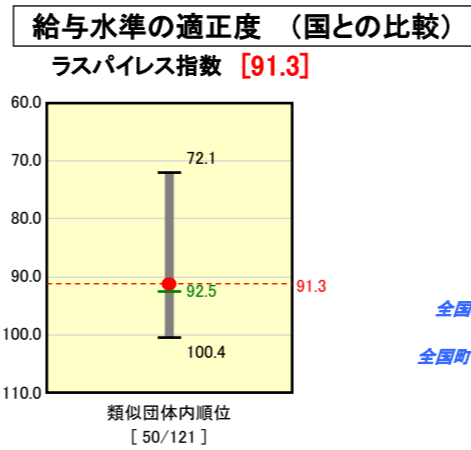
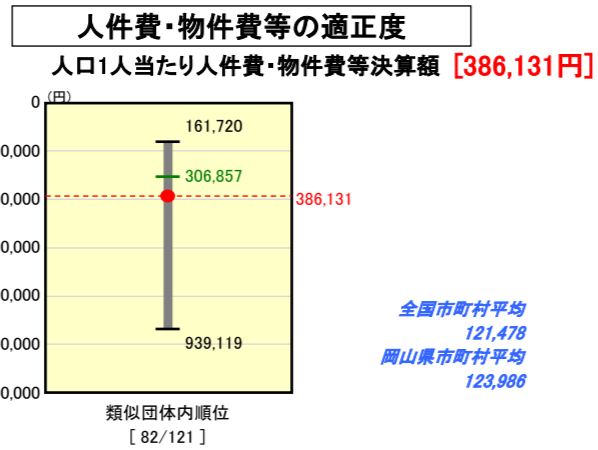
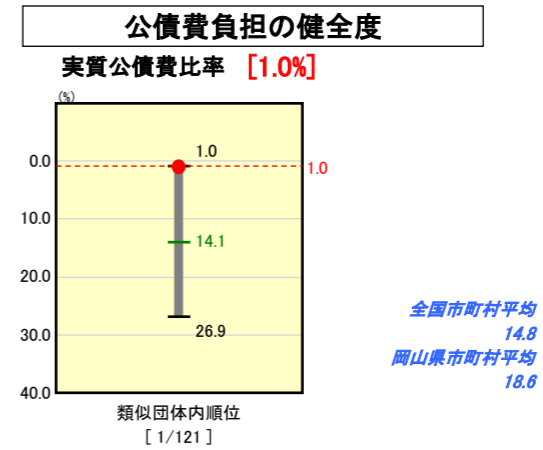
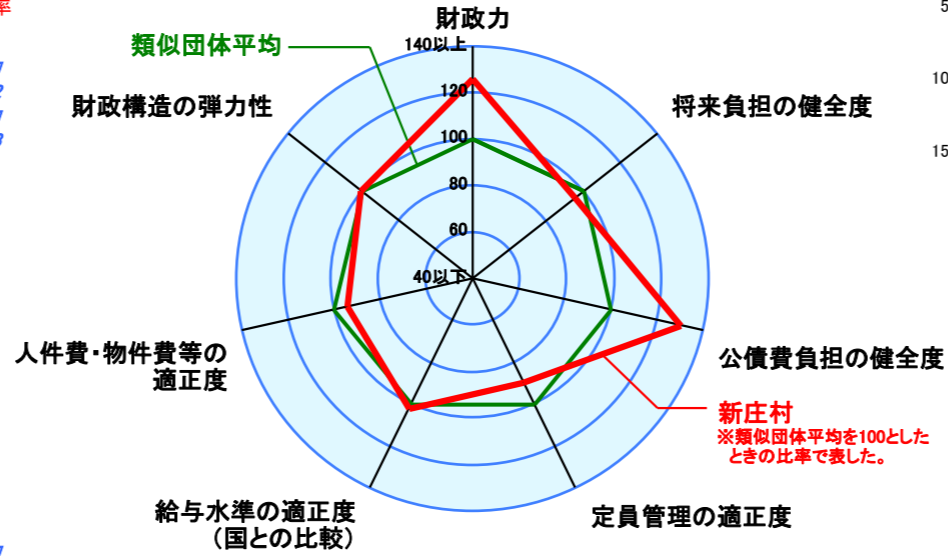
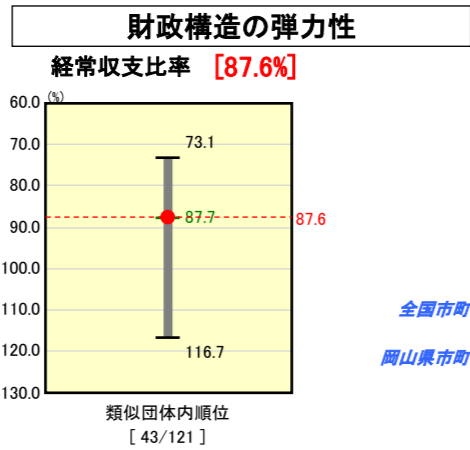
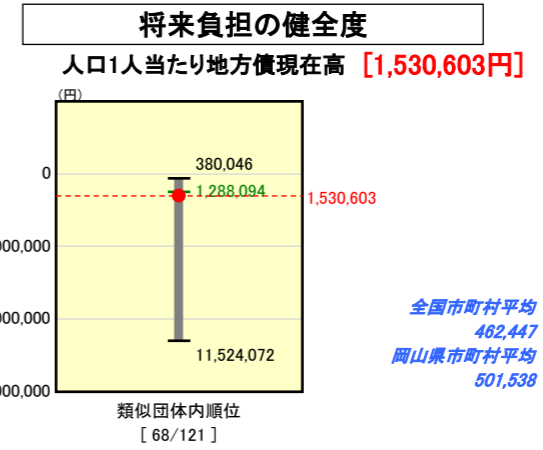
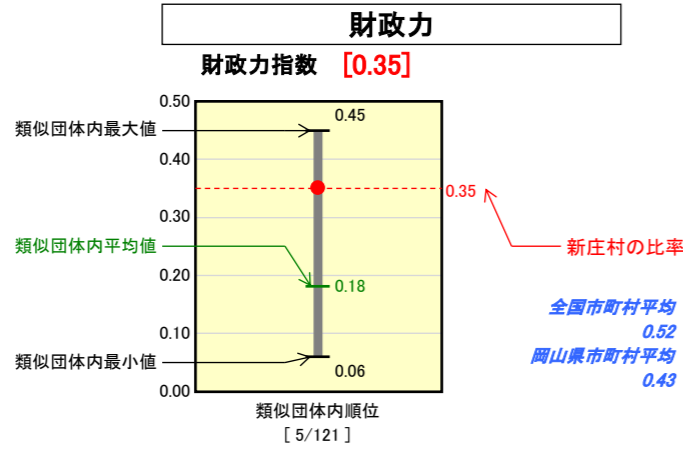


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 岡山県 新庄村

人口	1,099 人(H18.3.31現在)
面積	67.10 km <sup>2</sup>
歳入総額	1,491,194 千円
歳出総額	1,374,922 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

財政力(財政力指数):償却資産である固定資産税が歳入全体の2割を占めており、0.35と類似団体の平均値を大きく上回っている。しかし、毎年△3.4%の減収が見込まれるため、今後は行政の効率化に努めることにより財政の健全化を維持していく。

財政構造の弾力性(経常収支比率):類似団体の平均値とほぼ同じ状況にある。平成15年度までは70%台と非常に良好な数値を示していたが、平成16年度に86.3%となり平成17年度は87.6%となった。今後は人件費の削減など行財政改革への取り組みを通じて、義務的経費の削減に努め、現在の水準の維持に努めていく。

給与水準の適正化(ラスパイレズ指数):全国平均及び類似団体平均より大幅に下回っているが、今後も新規

公債費負担の健全度(実質公債費比率):交付税措置がある起債(地域総合整備事業債)の繰上償還を行ったため、1.0%と非常に良好な数値を示している。しかし平成14年度から簡易水道特別会計・下水道特別会計の工事増加にともない起債額が増加しているため、一般会計内での起債額を引き続き抑制していく。

定員管理の適正度(人口1,000人当たり職員数):類似団体平均よりも8人程度上まっている。平成17年度3名の退職があったが採用は1名にとどめ、さらに平成18年度に2名が退職しているが採用は1名である。ITの活用等により、住民サービスを低下させることなく、事務分掌の見直しを中心とした組織の簡素化により、類似団体平均の水準まで職員数の削減に努め、適正な定員管理を図っていく。